

平成30年9月定例教育委員会会議録

○日 時 平成30年9月20日(木) 午後3時～3時18分

○場 所 櫛引庁舎 3階 教育委員室

○出席委員 教育長 加藤 忍
1番 田中 芳昭(教育長職務代理者)
2番 佐竹 美津子
4番 齋藤 美緒

○欠席委員 3番 毛呂 光一

出席議事説明職員氏名

管理課長	丸 山 一 義	学校教育課長	尾 形 圭一郎
学校教育課指導主幹	山 口 幸 一	社会教育課長	鈴 木 晃
社会教育課文化主幹	佐 藤 尚 子	社会教育課主幹	三 浦 眞 紀
中央公民館長	前 森 淳 子	スポーツ課課長補佐	高 橋 修 也
図書館長	松 浦 幸 子	学校給食センター所長	太 田 功

出席事務局職員氏名 管理課庶務係長 石川聡

会議次第

1. 開会
2. 市民憲章唱和
3. 会議録署名委員の指名
4. 議事
なし
5. 報告事項
 - (1) 平成30年度(第61回)高山樗牛賞の推薦状況について
 - (2) その他
6. 閉会

開 会（午後3時）

教育長 本日の会議に3番委員は欠席であるが、定足数に達しているので、ただ今から9月の定例教育委員会を開会する。最初に市民憲章唱和を行う。

（中央公民館長が先唱し、市民憲章唱和）

教育長 会議録署名委員は、4番委員に願います。

本日は議事の予定がないので、報告事項に入る。それでは、平成30年度（第61回）高山樗牛賞の推薦状況について、事務局から説明をお願いします。

社会教育課 平成30年度（第61回）高山樗牛賞の推薦状況について、ご説明申し上げます。

高山樗牛賞は、昭和33年度の制定以来、今回で61回を迎えるが、これまで一般の部では、56名の方々が受賞している。また、小学生及び中学生と高校生の部については、若い方の文芸領域への関心を高め、その土壌を作ることを目的として、児童・生徒個々の創作活動に着目し、それを継承する高山樗牛奨励賞を平成15年度に創設し、これまで26名が受賞している。今年度の候補者の推薦については、5月末に候補者の推薦を依頼し、8月末日で締め切ったところ、高山樗牛賞の本賞の候補者に1名、奨励賞の候補者として小学校児童及び中学校生徒の部に2名、高等学校生徒の部に1名の推薦があったので、ご報告をさせていただきます。

なお、今後の予定であるが、10月9日火曜日に選考協議会を開催し、その協議結果を踏まえ、10月18日に開催される次回の定例教育委員会においてご検討いただき、受賞の可否を決定することとなるので、よろしくご願ひ申し上げます。

併せて、授賞式については、11月28日水曜日の午後3時からグラウンドエルサンで行う予定である。委員の皆様にご案内させていただくので、宜しくご願ひ申し上げます。

教育長 この件について、質問はないか。

1番委員 これまでは、高校生の部に働きかけても、なかなか出てこなかったが、今年は高校生の候補者が出たとのことで、ほっとしている。

教育長 酒田東高校の生徒で、全国高等学校総合文化祭にも出していた作品が、候補に推薦されている。

教育長 その他、報告事項はないか。

中央公民館長 中央公民館の文化祭が、9月28日金曜日から30日日曜日に開催される。教育委員の皆様にもご来迎いただきたく、ご案内申し上げます。

教育長 この件について、質問はないか。その他、報告事項はないか。

学校教育課長

高校再編について、資料をご覧いただきたい。

高校再編にかかる関係者懇談会が8月30日に開催された。その際に、出てきた資料等をまとめたものであるので、ご説明させていただく。

最初に、1ページ目の表であるが、関係者懇談会の意見聴取に先立ち、県教育委員会が訪問して、関係団体から意見聴取した内容である。

中程の欄が、高校再編について、南高校と北高校の統合、加茂水産と庄内農業の中央高校との統合についての個々の意見である。それから、右側が併設型中高一貫校設置案、県教委案に対する意見である。県教委案に賛成というところも複数見られる。

2ページ目は、8月30日に関係者懇談会を開催した際に、4名の方においでいただき、直接意見聴取した際の記録から、内容に関わる部分を抜粋したものである。この中にも、賛成・反対とも言えないとの表現があり、詳しくは、後程ご覧いただきたい。中高一貫校の設置案については、期待される声がこの中にも見られた。

3ページ目は、8月19日に行われた県立高校再編整備に係る未就学児保護者対象説明会について、内容に関わる部分を抜粋し、まとめたものである。今までにない特徴的な発言としては、南高校と北高校の2校が統合することにより、現在の南高校のレベルが下がるのではないかという声があった。自由記載の参加者アンケートでは、再編整備計画案について概ね賛成する声が見られる一方、中高一貫と同一にして欲しくない、これまでのように進めて欲しいという声も見られた。

4ページ目の中高一貫校の設置についてのアンケート結果では、肯定的な声が多くあり、強く要望するという声も見られる。一方で、否定的な意見としては、再編と一緒にではない方が良いとか、地理的な関係のほか、進学校としての南高校を単独で残すべきという声も出ていた。これについては、明後日の市PTA連合会の場に、この資料を提示したいと考えている。

教育長

この件について、質問はないか。その他、報告事項はないか。

スポーツ課
課長補佐

子ども夢スポーツフェスティバルのイベントについて、ご紹介させていただく。

このイベントは、体育の日関連事業として開催しており、子ども達に体を動かすことの楽しさを感じてもらうことを目的に開催しているものである。この度もオリンピックを招聘している。チラシの真ん中にある矢野良子さんと、アテネオリンピックのバスケットボールの選手であり、この方から子どもたちにむけたメッセージとしてお話をいただくことになっている。午後からは、ミニバスケットの子供たちを中心に、新たに

オリンピックの種目になる3人制バスケットボールの講習やバスケットに関するクリニックを開催する予定としている。チラシにあるとおり様々なミニスポーツをやる予定であるが、今回新たに、テープの上で飛んだり跳ねたり歩いたりするスラックラインという種目も取り入れた。ぜひ実際に体験していただきたく、ご紹介申し上げます。

教育長 この件について、質問はないか。その他、報告事項はないか。

給食センター 地場産物を活用した、我が学校、我がセンターの自慢献立を競う第13回全国学校給食甲子園があり、この度1701件の応募の中から藤島の給食センターで応募したものが山形県代表になった。現時点で54のひとつになっており、来月はじめの3次審査で24に絞られる。北海道東北7県で各一県ずつなので、7のうちの4に入れば、先に進むことができる。なお決勝大会に行くには、3次審査、4次審査がある。

献立は、枝豆の味噌汁、ゆかりご飯、切り干し大根のナムル、イナダの揚げ煮となっている。東北では、岩手が常連で近年毎年上位に挙がっており、岩手、福島の次ぐらいになればと考えている。経過については、後程、ご報告いたしたい。

教育長 この件について、質問はないか。その他、報告事項はないか。ないようなので、これをもって9月の定例教育委員会を終了とする。

閉 会 (午後3時18分)